

会 議 概 要

●開催概要	
名 称	第1回 東青山小学校区コミュニティ協議会 新バスシステム説明会
日 時	平成25年5月15日 午後7時から午後8時45分
場 所	東青山小学校 体育館
説明者	新潟市都市政策部新交通推進課，都市交通政策課 新潟交通株式会社
参加者	38名
●会議内容	
(1) 新バスシステムについて（新潟市説明）	
(2) 提案内容について（新潟交通株式会社説明）	
(3) 質疑・応答 ★発言者 ○新潟市発言 ●新潟交通株式会社発言	
★発言者1（女性）	
・新バスシステム全体について。説明を聞いていると、バラ色の将来が待っているように聞こえるが、絵に描いた餅にならないように。	
・積雪への対策をどのように考えているのか。青山の周辺でも快適なバス待ちの空間がないが、常々そういった空間が欲しいと思っていた。バスをより利用してもらうためには、そういった空間が必要。	
・西小針線や有明線の増便がないとのことだが、将来的にはどのようになるのか。乗り換えもなく、増便もないということだが、バス路線再編の対象外とされているような印象を受ける。	
○新潟市	
・バス待ち環境については、新潟市は雪も降るし風も強い。屋根を整備するだけでは、風雨をしのぐことが苦しいため、できることからインフラの整備を進めていく。BRTを導入するからには、サービスレベルを向上し、利用しやすい環境を整えた後、皆様に使ってもらい、意見をいただきながら、より良いものとしていきたい。積雪時でバスが遅れても、なるべくストレスを感じさせないように、情報案内等も充実させたい。また、除雪についてもしっかり出来るように関係機関と詰めていきたい。	
●新潟交通株式会社	
・今日お示しした増便本数は平成26年度のBRT開業時の数字。交通結節点の整備等，市と協力して進めながら，開業から概ね5年でバス路線の再編を完了させたいと考えている。対象外ということではなく，具体的な増便等については，決まり次第ご報告させていただく。	
★発言者2（男性）	
・BRT第1期導入区間が青山までとのことだが，青山の具体的な発着点はどこになるのか。	
・たとえ青山まで1区間であっても，乗り換えることになるのか。	
・現在のバス位置情報（バスi）は携帯電話でもバスの運行状況等を見ることが	

でき、とても便利であるが、潟東から来る国道8号を通るバス路線については表示されないため、早期に見ることが出来るように対応して欲しい。

○新潟市

- ・関屋大橋のたもとで黒埼方面、寺尾方面、大堀方面のバスが集まってくるため、その周辺の既存の道路空間を活用することを考えている。現在、具体的な計画を示せるように準備を進めているところであり、次回以降の説明会で具体的な位置をお示ししたい。

●新潟交通株式会社

- ・1区間であっても乗り換えとなるケースも出てくると思う。
- ・バスiの対応については、バス路線再編に合わせて検討していきたい。

★発言者3（男性）

- ・BRTはどの位置に停まるのか。

○新潟市

- ・今回は新バスシステムの概要と新潟交通からの提案内容についてお話をさせていただいた。今日の内容について、皆様からのご意見をお聞きし、新潟駅から青山間のBRTの停車位置などの具体的な計画については、次回以降の説明会で提示させていただきたい。

★発言者4（男性）

- ・今日の説明会はBRT導入ありきの説明となっており、良いことばかり説明し、デメリット、マイカー規制について何も触れていない。
- ・除雪についても、国道事務所はきれいに除雪しているが、市の除雪区間は全くダメ。
- ・メリットはもう聞き飽きた。デメリットをもっと出して欲しい。

○新潟市

- ・平成26年度のBRT導入時は、既存のバスレーン等を活用するため、バスレーンがより有効活用されるように、厳格な運用を警察にお願いしていく。市としても、警察にお願いするだけでなく、バスレーンの現況調査などを行い、出来るところから積極的に取り組んでいきたい。
- ・雪道走行の懸念については、これまでも多くご意見をいただいている。国内外の事例も調査しているが、降雪時でも大雪でなければ問題ないと考えている。BRT導入区間の除雪については、どのような基準で行うのか、道路管理者と協議を進めており、具体的な案については、次回以降提示させていただきたい。
- ・デメリットについては、やはり乗り換えが生じるという点があるが、情報案内などを活用し、乗り換えの負担を軽減していきたい。

★発言者5（男性）

- ・新潟交通の説明では、BRTは「バス高速輸送システム」と言っていたが、市では「次世代型バスシステム」と言っている。この違いは何か。

○新潟市

- ・BRTとは、多くの人をより早く正確に運ぶものであり、目指す方向は新潟交通と同じである。表現が異なっており、分かりづらく申し訳ない。まずは、既存のバスレーン、交通規制でスタートし、次のステップとして専用走行路を導入し、定時性・速達性をさらに目指していきたいと考えている。

★発言者5（男性）

- ・先日の市報の「ひこうき雲」で、バスが2，3分おきにくるようになると書いてあったが、これを実現するには、どれだけの台数が必要なのか。
- ・小針2丁目から青山の乗り換え場所までどうやって行けば良いのか。古町までの直通は無くなるのか。

○新潟市

- ・最初の連節バス4台導入時には、一般バスを組み合わせる輸送力を確保するが、段階的に連節バスを増大させていき、サービスレベルを上げていきたい。

●新潟交通株式会社

- ・交通結節点までは、既存の大堀線を活用し、青山で乗り換えることとなる。日中は乗り換えが必要となるが、乗り換えの負担を軽減するような環境整備が大切だと考えている。

★発言者6（女性）

- ・何も具体的な案が出てこないから、何も言えない。
- ・乗り換え場所を作ると言うが、どこにそんなスペースがあるのか。
- ・バス利用者が減少している理由は、バス料金が安いから。高齢者は気軽にまちなかに出られない。バス料金より、1日の駐車料金の方が安いから、マイカーをどんどん利用するのではないか。
- ・電車通りの路面電車がなくなった理由は分かっているのか。マイカーの邪魔になるからだ。
- ・議会の反対も多かったはず。何億も使うのは無謀。

★発言者1（女性）

- ・どうしたらバスをもっと利用できるようになるかを聞けば良いのでは？マイカーからの転換は必要だと思うが。

★発言者7（男性）

- ・今日の説明会は、BRTの導入ありきということで良いか。
- ・9月に契約の件で議会に諮るらしいが、今度は議会は本気で凍結させると言っている。これについて、どう考えるのか。
- ・新潟交通が苦しく、行政のバックアップが必要なのも分かるが、あまりにも拙速に進めすぎる。将来的な路線や、乗り換え場所などの具体的な中身が全然見えない。新潟交通の救済事業にしか見えない。
- ・今日は公にしていない集まりなのだから、より地域に丁寧な説明をして欲しい。
- ・イオンの店長と話したが、イオンの車の出入りがより厳しくなると言ってい

た。

- ・バス路線の再編は、新潟交通単独で出来ない訳ではないはずであり、これまで努力をしてこなかっただけだと思う。
- ・新バスシステム自体は良いことだと思うのだが、きちんと筋道を立てて、進めてほしい。

○新潟市

- ・まだ結論が出ておらず、お答えできない部分があることを、ご理解いただきたい。
- ・今回は、新バスシステム全体の枠組みと、その背景、また具体的な数字も現時点で出来る範囲で説明させていただいた。具体的な案については、早い時期に提示できるよう進めていきたい。

※ 説明会で出していただいた意見の他、説明会終了後に提出していただきました意見提出用紙で、以下のようなご意見をいただきました。（意見欄は自由記載）

- ・プリント縮小が見えない。不親切だ。
- ・映像パターンの棒読みで説明者に導入の熱意が見られない。必要性が薄いのか。
- ・説明がサラリーマンの社内検討会のような。一般市民ベースにトーンダウンし、噛み砕いた説明をしてほしい。
- ・現在は自家用の車を自分で運転して行動することが多いが、運転が難しくなった場合、また、公害等考えると、公共の交通手段になるべく早く切りかえたい。その際、①夏暑く冬寒い新潟では、屋根と風よけのあるバス停が是非必要であると考え。また②バス停の数を減らさないことも必要。バス停が遠くなっては外出する気もせず、まちなかの活性化も期待できない。
- ・今後も説明会等を継続して市民の合意形成を図ってほしい。また、具体的シミュレーションを出来るだけ早く示してもらいたい。
- ・一度聞いたくらいでは理解することがむずかしいが、将来の交通システムをたのしみにしている。
- ・第一期導入が青山地区までという事だが、具体的な発着場所を早期に明らかにしてほしい。
- ・短い区間で乗換が増えるのは不便になりそう。
- ・導入に反対。第一は費用対効果に疑問を感じるため。青山地区の結節点も決まっていないとの事。話だけが先走りしているように思える。第二に利用者に優しくない事。今は乗り換え無しで古町、新潟駅へ行けるものを乗り換えさせる。それでいてラッシュ時は今までどおり直通でいけるとのこと。それではBRTを導入する意味が無いと思う。ラッシュ時以外はガラガラの連節バスが走ることになりかねない。ひと通り説明会を開いたという事実をもって当事者の考えている通りに進んでいくのではないか。テレビでの発案者（市長？）の「万代橋の上を走るの格好良いじゃないですか」との言葉には驚きと怒りを感じた。この程度の考えで多額の血税が使われるのは最大の不幸。市・新潟交通の説明ではバラ色の人生が約束されるような話だが拙速過ぎる。

- ・BRTの定義で、「バス高速輸送システム（新潟交通）」が「次世代型バスシステム（新潟市）」に変わっている。バス高速輸送システムでは押し通せなくなったので変えたとは思えない。導入前から「定義」が変わる事に疑問を感じる。
- ・多くの説明会を聞いて市民の意見を取り入れたいとのことだが、一旦白紙にもどし、本当に市民の為に必要な事業なのか考え直す事はできないのか。今までにもかなりのお金が使われていると思うが、導入して意味が無かったとなるよりも良いと思う。白紙にもどす勇気を持って。以後も説明会に参加したい。
- ・青山地区の結節地点を早く決めて公表してほしい。